

★ 提案36に賛成の議論 ★

提案36に賛成票を: より厳しい法律でコミュニティの安全を守り、再犯者を厳しく追及するために

California州は、犯罪の増加と、フェンタニルのような致命的なハードドラッグの密売に苦しんでいます。提案36は、政治家たちが長い間無視してきた問題を修正します。これは、犯罪者がフェンタニルの取引や再犯の小売窃盗から逃れるために利用する州法の抜け穴を修正するバランスの取れたアプローチです。提案36に賛成票を:「スマッシュ・アンド・グラブ」窃盗を止めるために厳しい法律を

小売窃盗の増加により、California州全土の店舗は価格を引き上げ、商品をロックし、閉店に追い込まれています。提案36は、3人以上が共謀して窃盗を行う場合に、スマッシュ・アンド・グラブ犯罪に対する罰則を強化します。また、被告に2回以上の窃盗前科がある場合、検察官が重罪を起訴することを可能にします。

「California州には、スマッシュ・アンド・グラブ窃盗に対する提案36の厳しい法律が必要です。これにより、すべてのコミュニティで小規模ビジネスを守ることができます。」—Robert Rivinius, California 家族ビジネス協会、専務取締役

提案36に賛成票を: 連続窃盗犯の厳罰化

現在のCalifornia州法では、1回の窃盗で盗まれた品物の価値が\$950以下であれば、窃盗犯は交通違反切符程度の罰則で済むことがあります。つまり、個々の犯罪が\$950を超えない限り、無制限に窃盗を繰り返し、刑務所に入ることも逮捕されることも避けられる可能性があります。

「提案36は、検察官が複数の窃盗から盗まれた品物の価値を合算し、連続窃盗犯の責任を強化することを可能にします。」—Mike Hestrin, Riverside郡地方検事

提案36に賛成票を: フェンタニル密売に対する厳罰化

フェンタニルはCalifornia州の主要な死因の一つで、若者が薬物過剰摂取で亡くなる数が交通事故死者数を上回っています。しかし、フェンタニルは、犯人が銃を所持している場合、メタンフェタミン、ヘロイン、PCP、コカインよりも軽く扱われています。

提案36はこの抜け穴を閉じ、大量の密売や、密売人が売った薬物により死者が出た場合に罰則を強化します。

「フェンタニルは多くの人を殺してきましたが、密売人はその責任を回避しています。提案36が必要です。どの親もフェンタニル中毒で子どもを埋めなければならないべきではありません。」—Gina McDonald, 麻薬中毒と死亡に反対する母親たちの共同設立者

提案36に「はい」: キャリア犯罪者の責任追及と薬物治療要件の強化

California州では、刑事司法改革が公平性を進め、収監率を低下させました。しかし、これらの政策の意図しない結果として、薬物使用の流行、密売、繰り返される小売窃盗が発生しています。なぜなら、これらの犯罪を犯す人々が深刻な結果に直面しないからです。

「提案36は、司法制度を公正にし、犯罪者に責任を負わせ、ハードドラッグに依存している人々が新たな人生を始めるために必要な治療を受けるための効果的なツールを提供します。」

—Jonathan Moseley 牧師、西部地域ディレクター、Los Angeles ナショナル・アクション・ネットワーク

提案36に賛成の投票でCalifornia州のコミュニティをより安全に

提案36は、California州の「スマッシュ・アンド・グラブ」窃盗やフェンタニル密売に関する法律を厳しくします。そのため、小規模ビジネス、法執行機関、社会的正義、犯罪被害者、および薬物サバイバーの支持者、さらに90万人のCalifornia州民が提案36を支持しています。

詳細は VoteYesProp36.com でご確認ください。

Gregory Totten、最高経営責任者
California 地方検事協会

Harriet Salarno、創設者
犯罪被害者団体

Michael Hedges、会長
California 州小企業協会

★ 提案36への賛成意見に対する反論 ★

36

小売窃盗とフェンタニルは確かに深刻な問題です。California 州民は実際の解決策を求めています。提案36は解決策ではなく、虚偽の約束です。

提案36は、失敗した「麻薬戦争」を再燃させ、刑務所や拘置所に数十億ドルを浪費し、犯罪防止、治療、被害者支援、リハビリテーションへの重要な資金を削減します。それは、犯罪が減るのではなく、逆に増えることを意味します。

提案36は、単純な薬物所持を重罪とし、犯罪を減らすことなく、納税者に収監費用として数十億ドルを負担させることになります。無党派の法律アナリスト局は、この法案が今後数年間で州にさらに数十億ドルの刑務所費用を必要とすると結論付けています。その結果、学校、医療、その他の重要なサービスへの予算がさらに削減されることになります。

また、この法案は非常に不十分に作成されているため、多くの小売窃盗事件において、裁判所での混乱を招くだけで、より高い刑罰には結びつかないでしょう。

過去2年間、州のリーダーたちは小売窃盗の起訴やフェンタニル密売に対する資金を増やし、それに伴って有罪判決も増加しました。立法者たちは引き続き、小売窃盗グループ、違法な

オンライン市場、フェンタニルを対象とした強力な新法を制定し続けています。

California州の法律は、すでに「スマッシュ・アンド・グラブ」強盗、薬物取引、再犯窃盗に対して重罪を要求しており、これらの重大な犯罪は厳しい罰則をもたらす可能性があります。現行法の下では、フェンタニルの密売人や再犯者は実際に何年も刑務所で過ごすことが可能であり、いかなる抜け穴も存在しません。提案36は何も解決しません—それは治療や予防ではなく、刑務所の資金を調達することに関するものです。これはCalifornia州を前進させるのではなく、後退させるものです。偽りの解決策に惑わされないでください。提案36に反対票を!

Cristine Soto DeBerry、専務取締役
検察官連合アクション

Don Frazier、専務取締役
California 更生保護協会

David Guizar、共同設立者
犯罪サバイバーの安全と公平性

★ 提案36に反対の議論 ★

提案36に反対票を!これはCalifornia州をより危険にし、無駄なアプローチです。提案36は7億5千万ドルの税金を無駄にし、メンタルヘルス、薬物治療、リハビリテーションプログラムの資金を削減し、私たちをより安全にするためには何もありません。

提案36は間違った答えです。フェンタニルの使用を止め、公共の安全を向上させるためには、すべてのアプローチを採用する必要がありますが、提案36はその正反対です。これは一律の「刑務所優先」アプローチです。危険でない人々を収監し、実証済みの犯罪防止や治療プログラムから切実に必要とされる資金を削減し、刑務所に何億ドルも余分に費やすことになります。

提案36は極端すぎます。提案36は非常に極端で、お菓子を盗むだけで重罪の告発につながる可能性があります。これは、これは1980年代の「麻薬戦争」スタイルの戦術を復活させ、低レベルの薬物犯罪で州の刑務所を人で溢れさせ、公共の安全を損ない、家族やコミュニティに被害を与えます。

窃盗やフェンタニルのような問題に取り組む必要がありますが、過去の失敗した散発的な解決策ではなく、実際の問題に的を絞った効果的な解決策を使用する必要があります。この法案により、単純な薬物所持が重罪となり、数千人が州の刑務所に送られ、刑務所の費用が増大し、地域の安全プログラムの資金が削減されることになります。それにより、犯罪は悪化するだけで、改善されることはありません。

提案36は犯罪被害者、リハビリテーション、メンタルヘルスからの資金を削減します。提案36は、犯罪被害者のリハビリテーションやサービスに使われる専用の資金から何百万ドルも削減し、代わりに州の刑務所予算を拡大させます。

提案36が可決されれば、犯罪を防止し、刑務所の出入りを繰り返す人々を止めるために法執行機関と協力している地域の公共安全プログラムが資金を失うことになります。85 これに

は、メンタルヘルスや依存症に苦しむ人々を治療に導く効果的な再犯防止プログラムや、犯罪被害者のためのトラウマ回復センター、危険にさらされている若者の不登校や中退を防止するプログラムが含まれます。これらのプログラムは、犯罪を防止する確かな実績があります。私たちは、法執行機関と連携してこれらのプログラムをさらに充実させる必要があります。この法案は、ただ州の刑務所に多くの人々を収監するだけです。

提案36はMAGA派の共和党員によって推進されています。騙されないでください。法執行機関のリーダー、犯罪被害者、リハビリテーションの専門家は、提案36に反対しています。なぜなら、提案36は公共の安全、被害者、再犯防止プログラムに対する資金を削減するからです。

犯罪、支出、刑事司法の専門家は一致して言います: 提案36は私たちのコミュニティを安全にすることはないといいています。提案36は、非効率で効果のない方法にあなたの税金を数億ドルも浪費させるでしょう。

提案36に投票することは、治療や被害者のための資金を削減し、税金を無駄にする投票となります。提案36に「いいえ」と投票することは、薬物取引や組織犯罪に対する厳しい罰則を維持し、犯罪と再犯を効果的に減少させる治療、犯罪予防、リハビリテーションのための専用資金を保護することになります。

提案36に反対票を

詳細はStopProp36.comをご覧ください

Diana Becton、地方検事

Contra Costa 郡

William Lansdowne、警察署長 (退職)

San Diego市

Jess Nichol、被害者支援者

犯罪サバイバーの安全と公平性

★ 提案36の反対意見に対する反論 ★

提案36に「はい」: 上昇する犯罪に対するバランスの取れた責任ある解決策

California州には深刻な犯罪問題があり、政治家たちはそれを解決できていません。提案36は、上昇する犯罪の根本原因に焦点を当てた適切な改革です。• 繰り返される小売窃盗 • フェンタニルの密売 • 治療へのインセンティブがない薬物依存症

提案36: CALIFORNIAの犯罪危機に対するターゲットを絞った対応

提案36は、「スマッシュ・アンド・グラブ」強盗や、ビジネスを繰り返し標的にする再犯者に対する罰則を強化します。「お菓子を盗んだ」という理由で誰も刑務所に送られることはなく、裁判官は犯罪の重大性を考慮して判決を下す裁量を持っています。提案36は過剰な収監にはつながりません。

提案36: 薬物依存症に対するスマートなアプローチ

提案36は、自動的に薬物使用者を拘束することはありません。代わりに、薬物裁判所を復活させ、3回有罪判決を受けた違反者に薬物治療を完了するためのインセンティブを提供します。

提案36: 消費者と納税者のための節約

California州の小規模ビジネスや店舗は、2022年に窃盗によって約90億ドルを失いました。繰り返し盗む少数の犯罪者に対

象にすることで、消費者には大きな節約がもたらされます。薬物依存症の治療は、California州が毎年オピオイドだけで600億ドルを費やしている違法薬物使用と過剰摂取に対処する賢明な方法です (CDCによる)。

提案36: 厳しい罰則と責任の強化

政治家たちにCalifornia州の犯罪問題が存在しないと言わせてはなりません。提案36は、ターゲットを絞った犯罪に対する厳しい罰則と、公衆の安全に対する実際の責任を求めるスマートでバランスの取れた責任あるアプローチです。

提案36が民主党員や共和党員、小規模ビジネス、市長、社会正義および被害者団体、法執行機関から支持されている理由を読んでください

VoteYesProp36.com

Robert Rivinius、専務取締役

California州家業協会

Jay King、会長

California州 黒人商工会議所

Greg Van Dyke、会長

California州消費者支援団体